

陸屋根、スレート屋根対応 三河架台メーカーの開発力

自 家消費太陽光発電設備を提案しやすい一定規模以上の金属折板屋根の数が減り、最近では陸屋根やスレート屋根の施設に設備を提案するEPC（設計・調達・建設）会社が増えてきた。これを受け、三河地方の架台メーカーが陸屋根用架台やスレート屋根用架台を開発し、提案を強めている。

陸屋根用架台では、動力（愛知県安城市）が3種類の製品を用意する。まずコンクリートなどの重りで太陽光パネル取付金

具を固定し、屋根に穴をあけずに設置する置き架台だ。2つ目は24年6月に商品化した地上設置用太陽光架台を用いた架台である。施工業者などが設置する乾式と湿式の両基礎に搭載できる製品だ。さらには乾式基礎対応の架台を24年10月に売り出す。これは太陽光パネルを屋上のパラペット（胸壁）より低くできるもので、同社は太陽光パネルの上面が床より150mm以内に収まるように設計したという。同社取締役の芦原清一郎市場開発部長は、「横棧

方式で設置できるようにして基礎や取付金具の数を減らした」と特徴を語る。このほか同社はアルミ式で重量220gの軽量ハゼ式折板屋根用架台を8月に発売する予定だ。



動力の陸屋根用架台。屋根面からパネル上面までの高さを150mm以下に抑えることができる